



「森を知り 森を楽しもう」 ～講演会に 93 人の市民が参加！～

平成 24 年 5 月 10 日 武蔵野の森を育てる会

3 月 11 日（日）午後 1:30～3:30、武蔵野プレイス 4 階フォーラム（武蔵野市境南町）にて講演会「森を知り 森を楽しもう～〈独歩の森〉とともにくらす～」が開催されました。講師の中川重年氏（京都学園大学教授）から、雑木林とは何か、雑木林を楽しむための方法と事例、独歩の森を保全するための考え方などを話していただき、武蔵野の雑木林に親しみをもってもらうための入門的な内容をわかりやすく提示していただきました。

この講演会には、**市内外の各地域から 93 名が参加し**、熱心に講師の話に聞き入りました（地域別内訳：境 18 名、西部地域（境南、桜堤、関前）20 名、その他市内 27 名、市外 27 名、不明 1 名）。講演後のアンケート調査（対象者 78 名（会員除く）、58 票回収、回収率 74%）では、「大変満足」24 票、「満足」28 票、合計 52 票（回答者の 90%）が満足と回答し、**高い満足度を得ることができました**。

境山野緑地（「独歩の森」）に対する市民の関心と愛着が高まるとともに、**市民全体の貴重な自然資産を守り育てる活動**に向けて、より多くの方々が参加されることが期待されます。



満席の会場



雑木林の説明をする講師

武蔵野の森を育てる会では、境山野緑地（「独歩の森」）を豊かな生態系の雑木林として保全していくため、これまで学習会や見学会を継続的に行ってきました。平成 23 年度は、埼玉県所沢市の「おおたかの森トラスト」活動地（5 月 7 日）、東京都日野市の東光寺緑地（3 月 24 日）の雑木林を見学し、保全方法を学ぶことができました。今後とも、多くの市民の方々とともに学習を重ね、**未来の子どもたちによりよい自然空間を残すために努力します**。

（「独歩の森」（境山野緑地）と武蔵野の森を育てる会の説明、今後の活動予定などは裏面をご参照ください。）

「独歩の森」の由来

武蔵野市立「^{さかいさんやりよち}境山野緑地」の中にあり、明治の文豪・国木田独歩の小説『武蔵野』の舞台ともなった場所です。「独歩の森」と呼ばれるのは、そのためです。コナラやクヌギといったドングリの木を中心とする武蔵野本来の雑木林は、今では武蔵野市内からほとんど姿を消し、「独歩の森」が唯一のものになってしまいました。ほんの小さな森ですが、武蔵野市の歴史と文化が感じられる貴重な自然空間です。

生き物の横顔

境山野緑地には、昔から武蔵野の自然のなかで生きてきた生き物たちが今も暮らしています。これらの生き物が元気に暮らしていけるために、そして子どもたちの未来のために、豊かな森を残していくことが私たちの役割だと考えます。



ウグイスカグラ



ハラビロカマキリ



ネキトンボ

武蔵野の森を育てる会の活動

武蔵野市公認の緑ボランティア団体です。武蔵野市緑化環境センターとの協働によって、「独歩の森」を含む境山野緑地全体の保全活動を行っています。小さなお子さんから、学生やシニアまで、いろいろな方が集まり、草刈り・草取りや樹木のお世話など、みんなで和気あざいと森のお手入れを楽しんでいます。



「独歩の森」の位置

JR中央線武蔵境駅北口より徒歩10分、スキップ通りを直進してはんこ屋さんの角を左折したところにあります。(武蔵野市境4-5)

今後の活動日は、5月19日(土)、6月10日(日)・23日(土)です(朝9~11時、境山野緑地北端物置前に集合)。詳細はinfo.mnomori@gmail.com、あるいは当会HP(<http://mnomori.web.fc2.com/>)までどうぞ。

